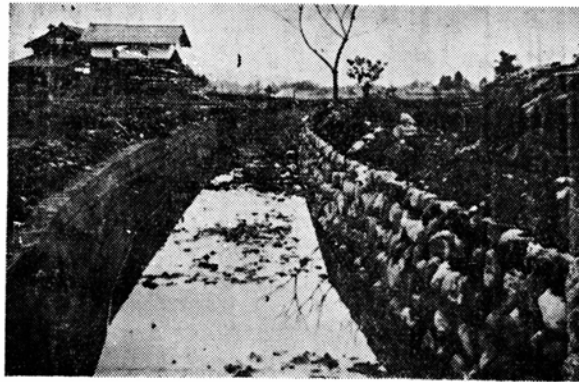


大野☆市報

堀兼用水の完成せまる

年六百二十五石の増収見込

堀兼用水は、積雪寒冷単作地帯振興対策事業として昭和二十九年年度に着手、四カ年経続事業で、総工費一千八百三十二万円を費し水路総延長六千六米、幅二米、水路高さ一米という大用水で、今年度分の工事は十一月末で完成し、あと一千二百米(昭和三十二年度分)でこの工事はしゅん功することになっている。(写真は完成せまる堀兼用水—西山地籍にて)



五条方発電所排水口から、真名川の水を一手に取り入れる真名川用水は大井、明後、堀兼の三用水に分水されているが、ここを起点とする堀兼用水は五条方、今井、平沢、西山、稲郷、上掘、中掘下掘と延々六千六米も続いている。

積寒対策の制度ができ国と市の補助を受けて、これが着手の運びとなったもので、地係農民の宿願は漸く達せられる事になった。すでに今年度までにはできあがつた水路は二千五百八十九米

越美北線いよいよ着工 敷地買上げ今年中に

越美北線の本年度事業は、大野駅から勝原口までの敷地買上げと、九頭竜川、真名川にかかる鉄橋の橋脚の建設費に上る。十一月二十二日には、池田

助役、水上商工課長らが関係地籍の起工承諾書を取りまとめ、岐阜事務所に持参し、この工事の早期着手に力を添えているが、これについて、かねて、齋藤市長もたびたび上京、地元選出衆・参議員の協力による險の力も大きい。

上庄小講堂 地鎮祭行わる

明年三月末にはおめみえ

総工費一千九百万円を要し、総坪数二百八十七坪、鉄筋鉄骨の永久講堂が上庄小学校に新築されることになって十月二十日午前九時、同講堂新築用地において地鎮祭が行われた。

齋藤市長は、同線の明年度の予算には三億円を獲得したいと猛運動を続けている。なお十二月一日には岐阜工事事務所において、九頭竜川と真名川にかかる鉄橋の入札が行われる。



(写真は上庄小学校講堂の地鎮祭)

西山まで完成、昭和三十二年年度で全長がしゅん功する。この水路の完成により、三百九十町歩のかんがい、排水の万全が期され、なお六百二十五石(米換算)の増収が見込まれるとともに、市の中心市街の防火用水にも、利用できることになるので、この早期完成が期待されている。

納税と市民

市民と社会との関係は、納税によって明らかにされる。選挙が市民とす指標といふことができるであろう。納税によって市民は、共同社会の一員としての責任を分担することができる。たとえば、いろいろな会やグループが、その会員としての資格を認める方法には、納税に出席することと、会費を負担することによって明らかにされるのと等しい。地方自治団体は、社会の組立ての上からいって、生産集団のうちの非営利団体メンバーである。そのメンバーとしてのつながりとは、会費に相当する税金を納付することにある。

「何となう追はれ心」の年、行く、弓男」全く年末というものは、日ごろ忙しい人はもちろんだが、大して忙しくない人でも心が落着かないものだ。しかし大宇宙は地球のさわぎをよそに「空に見よ月日はくるる年もなし 宗祇」と營々としてその運行をつづけている。動物達にしても、年末だからといって別に用事がふえるわけでもないから「鳥カア雀チユウとて年くれぬ存壘」としごく落ちついたもの。こうなるとベタベタさわくのは人間だけであるらしい。▼その忙しい最大原因は、掛売の借金で、これがなければもう少し世間も静かだと思わず少しづつ借金でもたまると大きくなってしまい、「書出しに小町が返事なかりけり 石波」と美人も御気嫌ななめ。お互いになるべく掛けはやめて近代商法でいきたいものだ。▼そうこうしている内に「ポロポロの聖書となりぬクリスマス 野鳥」がやって来て「けさからの始末おかしや大みそか 瓜流」となつてしまふ。除夜の鐘をききながら「ことごとくに我あやまてり年暮るる音子」と消沈する人が多い世の中だが、心から「年はゆけど悔なき我や心富む 大州」とすべての人が思える時代が来るのはいつの事だろうか。

※ 今月の市税、固定資産税 第三期分 納期 十二月二十五日まで

活発に質疑応答

大野地区 議員、區長ら40名

市政を語る座談会

十一月二十六日午後一時から有終南小学校で、大野地区選出議員、區長、ならびに西小学校校舎改築促進期成同盟会会員ら約四十名が集り、市当局から池田助役、清水総務課長、寺島教育長、日下消防署長らが出席、市政について建設的な要望があり、活発に質疑応答がかわされた。

そのあらましは、次のとおり(△印は質問)

△市建設五カ年計画について
事業の進捗よく状況をお聞きしたい。

答、計画そのものがぼろ大なもので、再検討を必要とするが現在は学校、水道、商業面の事

業は、良い進捗よく率を示している。

△衛生施設について、もつと積極的に事業の遂行をして欲しい。なお下水の流通を良くして欲しい。

答、新年度の予算で考えたい。発電所建設にあつて、かさんが水量と非常時に必要な水量が確保できるようにして欲しい。

市は、発電所誘致について積極的にあつて聞きたいが、これについて聞きたい。

答、発電所誘致については、県の試案にもとづくものであるが、当市としては、今後、大工場の誘致、その他、重工業の発展の要素としても、交通の至便

と豊富な電力資源を保有する事は当市発展の一大要素で、欠く事のできない要件であるから、市当局では、全力を挙げて、関係者に協力を求めている。

必要水量の問題については、既設発電地帯を見ても必要量の水量は確保されているし、なお知事としても地元を不利益な事は承認すると思われない。

非常時の水利は、いま消防署で調査研究を進め、三月までに木本開拓の排水を効果的に利用する計画を樹てることになつて

△下水道にゴミを捨てる者が多くて、下流では迷惑している。これがまた、非常の場合に流水が悪く、防火用に間に合わない事になるから、理事者で規則を設けて取締つて欲しい。

答、規則も考えられるがそれは取締りの規則でなく、市民の

守るべき最低の道義的な規則にするのが望ましいと思う。それよりも大切な事は市民の公徳心から発する自戒の態度が必要で皆さんからも地域の人々を啓蒙して欲しい。

△有終西小学校は、明治三十八年に建築したもので老朽度も甚だしい上に、児童数の激増に

文部省では毎年、全国の公民館の中から、優秀な運営をしている公民館をえらんで、十一月三日に表彰を行っているが、今年

の準備優良公民館として大野公民館がその選に入った。大野公民館は昭和二十三年八月、旧大野町公民館として創設され、いらい八年間活動を続けこの度の表彰をうけた。この理由として、

△施設を十分に生かしている

文部大臣 表彰に輝く大野公民館



△文化団体を育成している
△視聴覚教育を行つている。
△図書館活動が優秀である。
などの点があげられているが、これらの活動を進めてゆくために、三カ年計画を樹て、事業を行つたり、市当局を始め運営審議会、協力委員会、推進委員会等の機関や、各種社会教育団体や、一般市民の絶えざる協力が、大きな力となつてゐる。

少い文化器具



農家に洗たく器を、これは決してぜいたくな夢ではない、日ごと、星を拝み野良に出て、夕

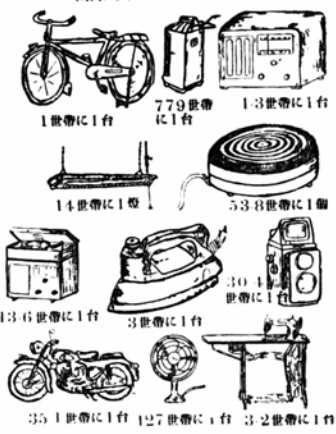
に月影を踏んで家路に着く農家の人たちにとつて、文化機械、器具の導入は緊急要件といえる。そうすることによつて、また近代人らしい生活も営まれる。

青年たちの集いには、必ずこれが話題の一つにあげられてい

るが、いまなお体力に頼り過ぎる農業経営と、これを農業者の宿命だとあきらめてゐる年長者に少からず不満を抱いている。こういふことが原因の一つとなつて農家へ嫁ぎたがらない娘も多くなり勝である。

富田地区の器具台数は電気せんだく器一台、電着十四台、蓄音器三十二台、扇風器三台、写

富田地区の文化器具調 (昭和30年12月1日現在)



自転車二百三十三台、自動二輪車六台、スクーター二台、自動三輪車十二台であり、農家一戸当たり

はグラフのとおりである。昭和三十年十二月一日現在 (写真は富田地区の文化器具利用状況を示す)

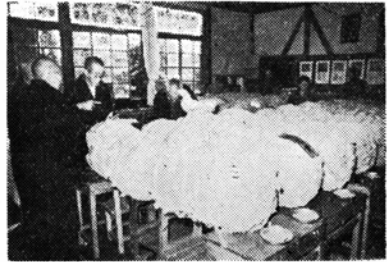
最後に区長会長の西川長農助氏は、この種の会合を今後とも度々催したいと結び五時三十分閉会となつた。

出品総数は885点

盛況だった第2回農産物品評会

十一月二日、三日の文化祭に有終西小学校校舎で第二回農産物品評会が行われた。この両日は、各学校ならびに各種団体の芸術作品が多く展示されたので催しに一瞬の光彩を放った。

今年の気象条件は、農作物に良かったとはいわなかったが、生産者の粒々辛苦と技術の向上が効をなした第一回よりもはるかに立派な結果を得た。出品点数八百八十五点のうち百六十点の優秀生産者に対して労をたたえ、三日の午後一時から有終西校講堂で市長表彰を行つた。



(写真は品評会場の一コマ)

品価値の高い農産物の生産を促して、消費市場の開拓に当たるとか第一要件であろう。とくに山の柿と栗は特産品として有望

視されているが、なお今後の研究が必要であると審査員は述べている。



生産の計画化

大豊作には及ばないがことしも平年作を凌ぐ収穫を終つてはつとされたことであろう。年の終りに当つて過ぎし年を反省し来年の進歩への足がかりにしてみよう。

ひとところのような収穫皆無の田が見受けられなくなつたのは農業の進歩、施肥技術の改善に

移そう。

生産の計画化を今すぐ実行にすなわち輸送事情が悪く、需

負うところが多く、硬然とお天責任でなく一つの見通しを持つて、生産に従事できるようになつたことはあすの農業を明るく希望のもてるものにする。古くから生産分野では計画生産が軌道に乗つているのだから、一般農業もそろ／＼めざめていゝ頃である。日本の農業はいま自由競争の荒波の中にはうり出されようとしている。今にして自覚しなかつたら悔いを後々まで残すことになる。

要期になくなる肥料は今年の中に計画購入する。保温折衷苗代の油紙も今のうちに手配する。温床紙のごときはまだ目標の半分しか確保されていない。種籾も産米改良、品種統一の見地に立つて奨励品種に限定してこんごの商戦にそなえる必要がある。

そうした個々の経営が計画的に遂行されると同時に、部落全体も計画生産の道を進まなければならぬ。何となれば日本のような経営規模の小さい所では地域社会が團結する以外生きる道がないからである。個々の技

術の改善も必要であるが、それ以上に地区全体が現在の飲陥隘路を見極め、除去して万全の策をいものうちに樹てべきである。そのために部落振興を目標とした部落農業計画が用意されているのである。

部落の農業計画については近く行われる部落座談会で十分検討されると思うが、年末に當つて一言呈し、予め心構えを作つて置いて戴きたい。

ラジオの雑音ほど不快なものはありません。この雑音防止のために、皆さんの御協力をえて、楽しくラジオを聴けるようにする目的で、十月二十四日、大野市ラジオ雑音防止協力が生まれました。

このメンバーは、大野市役所、大野商工会議所、大野商店街連盟、北陸電力大野営業支所、大野ラジオ商組合、福井県電気工事業協同組合大野支部、北陸電気工事株式会社大野営業所、福井県電化普及協力会大野支所、大野公民館、大野婦人会で組織されています。

もしあなたの家のラジオが雑音でききにくい場合は、北陸電力大野営業支所へ申込み下さい。

新年祝賀名刺交換会

お申込は早く
新年を祝う名刺交換会のお申込は、十二月一日から同二十日までに、市役所総務課へ、出張所地区は出張所へ、住所、職業、氏名を明記してお申込み下さい。

△主催 大野市 △日時 昭和三十三年一月一日午前十時
△場所 大野有終南小学校講堂
△会費 百円

市民の明るい動き ⑬

きょうは床屋さんのものじめイカメシクいえば「大野理容師会」の会長をしておられる増田秀雄さん(水落)をたずねて、床屋さんのグループ活動をきいてみよう

大野にはいま、四十七軒の理髪店があつて、それぞれのサービスと技術で毎日お客に接しているがこのサービスをさらに向きさせ、新技術を取り入れるために生まれたのがこのグループである。

何といつても調髪は技術で、時代遅れのかり方をしているのではお客も遠のくというもの。

そこで会員の中の比較的若手の人たちでグループを作ろうと

いう話のもち上つたのが、今から六年前。集つたのは十名程の人数であつたが、いずれも熱心な人たちがかりで、それから毎月二十日を定例会にきめて技術研究はもちろん、商店経営やサービス研究に真剣な話し合いが展開された。やがて誰い

大野理容師グループ
技術と教養を

「会を運営して一番むずかしいのは、町全体の理髪店の技術水準を一定にすることで、あの店は絶対なく客が入り、他の店は閉古鳥が鳴くのは、やはり技術に問題があるのではないでしようか。それからもう一つは労働時間の事で、協定時間できたおかげで長時間労働をする事はなくなりましたが、お客から無理をいわれると、仕方なく協定を破り疲弊します。せつかく会員の中から病人が絶えなかに、それが復活したら大事ですからね」と増田さんは問題を打ちあけてくれた。「私たちは町の環境衛生を進めてゆくための大きな推進力になりたい

冬は陽が沈んで店内に闇が迫つてきた。蛍光灯の光がクリュームの壁に反射して生き生きと輝く暖い店をあとに、グループのあすの発展を祈りつつ北風の街路へ出た。(写真は衛生設備も整つた理容所の内部)

グレン隊に襲われたら
ゆすり、たかり、暴力団、押し売り、密附強要、グレン隊などに襲われたとき、すぐ警察へ知らせして下さい。

※ 燃えない工夫、焼かない注意

※ 今月末日に工業統計調査が行われます



③

御協力下さい

A子 国民健康保険には義務的に加入しなければなりませんか
お答 国民健康保険は、住民が健康を保ち安定した生活を営むためにぜひ必要な制度であります。

これを実施することは、議会の議決による条例で定めることになっております。もし条例で実施することになりますと、その地域内に居住する世帯主およびその世帯に属する世帯員は全部加入しなければならぬことになつてきます。

なつています。これは、国民健康保険は地域住民の平素からの用意による協力によつて、相互に医療費を助け合う社会保険の一つでありますので、この様に定められているのであります。

ただし社会保険などの被保険者その他、法令に定めるものは加入しなくてもよいことになり

今月の行幸

上旬 △スキー客誘致地元受入対策協議会 本庁協議室
二十日〜二十七日 △労働力調査
三十一日(月) △工業力調査

これを国民健康保険の任意設立強制加入といつていきます。

声

早く 国民の再開を
大野地区国保の再開が一日も早いことを希望している私たちに取つては耳よりな話です。
医療保険で私が特に痛切に感じた点を述べますと、

職場の保険に入っている人は、月々のサラリーから相当な保険料を引かれてはいますが、万一の時には、無料で入院もできる、大手術もでき、また家族

も診療費が半分になります。その上、国保が再開すれば家族も無料になり、非常に助かります
△国民健康保険のない大野地区で働いている女中さんなどが



〔郷土いろいろはかるた〕
類のすくない金米糖石

今は足羽郡美山村に入つた下味見の赤谷からは、図のようにコンペイトウの形に結晶した自然硫が出来ます。これは世界にも類の少い珍しい鉱物で、大きさは図ぐらい、暗灰色、熱するとニククの臭がします。又折立からは黒雲母が変成して水分子を含まない火の中に入れてとれるようにふく

はともみじめです。
△健康保険に入っていない人は病気になるても直ぐ医者にかからない。先だつものは金、つい早期診療が遅れて病気を重くし、よけいに医療費もかさみ、そして病苦と貧困との二重の苦しみを受けます。
△保険診療も昔と今では、うんでいゝ差があることは、先日開かれた国保の座談会でよくわかりました。また医者に聞いてもそのとおりです。
旧大野町の国保を一日も早く再開して、使う者も、使われる者も全市民が再開に協力し、安心して生業に就き、明るく、住みよい社会を作つてほしいものです。
(下神明・政子)



ある年ある人が、河原に行く、誰か呼んでいる。行つて見ると、天神さまの石像であつたこれはもつたないと思ひ、自宅に安置し拝んでいたが、どうして河原に流れてきたのか不思議に思ひ、これは自分一人で拜むべきではない。村人に拜んでいただけようと、小さな御堂を建てて、おまつりした。

いまそのお堂にかけてある絵馬を見ると、文化、文政時代のものであるから、この天神さまを拾つてきたのは、いまから三百年程前のことと思わ

森政村(いまの森政領家)は

徳川時代郡上領であつた。ある年郡上八幡の代官が森政村へ巡検にきた際、この天神さまのことを聞き、これを拝まれて「これは尊い姿だ、八幡城であつたからゆづつてくれ」とのことであつた。

河原に流れていた 森政村の天神さま

代官さまのいわれることであるから「よろしゅうございます」と承諾した。そこで代官は、人夫一人を雇ひ、これを八幡に運ぶよう命じた。人夫は、早速この天神さまをかつぐ準備をして、かつぐと抱きあげたが、

重くてどうしても動かない。

そこで代官にその旨を申しあげ、人夫を二人にしてもらつて二人で抱きあげようとしたがやはり動かない

これに、天神さまを離れたいくないという



神意と考え、これと同じような石に、このお姿をうつして描きお堂に納め、今度は動かせるだろうと、抱いて見ると、一人の人夫で軽々と動かされた。代官は、これはただならぬ大事と思ひ、早速八幡城主青山大膳宛に申しあげ、立派な神殿を城下町

に造営しおまつりした。その後は不思議にめでたい事が度々あるので信心する者が多くなり、いまでも各地から信者の参詣者が絶えないとのことである。
(写真は森政領家に安置されている天神さま)

病気になる、皮肉な現象が起きます。月収何万円もの主人は職場保険で医療費は無料になるというのに薄給の女中さんは、全額自己負担、自腹で病気をなおさなければなりません。
小さい商店の小ぞうさんも同様で、健康保険のない人の療養

完納がきずく
住みよい大野市

▼中性洗剤



洗剤 一種で石けんにくらべて洗淨力がすぐれ硬水にもよくつけて、そのうえ簡単なすすぎで、石けん分が残らないので一般の洗濯にはよく利用されています。
この中性剤を普通〇・三%前後の溶液として食器類や野菜、果物などを二、三分間つけて、水洗いすると、これらについているゴミ、バイ菌、回虫卵などを取除くのに大変効果があります。
▼ゴム長のすべり止め
ゴム長靴の底が減つて凸凹がなくなると滑つて困ります。ペンシヨーを小さく切つて所々に貼つておきますとすべり止めになつて安心です。
▼びんづめの糊
市販のびんづめの糊を少しつかつた後、そのまゝにしておきますと、上がから／＼にかわいてむだになりますが、使つた後、ふたをさかさにして置くと、いつも新しく使用できます。